

高城コミュニティセンターだより



第413号 2023年(令和5年)1月 高城コミュニティセンター発行

【所在地】〒682-0642 鳥取県倉吉市上福田480

【開館】平日9:00~17:00(休日・祝日・盆・年末年始を除く) 【TEL】28-0950

【FAX】28-6033 【E-mail】kotakasi@ncn-k.net 【HP】http://www.ncn-k.net/kotakasi/

賀正

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和4年5月にコミセン化に伴う、今まで独立していた青少協、同推協、地区社協の3協議会を新しく統合したコミセン運営委員会に包含し曲りなりにも出資することが出来ました。決算時期の違い、住民からの負担金で成り立っている自治公協、市からの指定管理料、業務委託費で運営されているコミュニティセンター運営委員会、各自活公民館の自主性を担保しながら自治公協、コミセン運営委員会がそれぞれの特性を生かしながら連携し高城地区の様々な問題に当たっていきたいと考えています。

最後になりましたが、地域の皆様のご健康とご多幸、そしてコロナの終息を祈念しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和5年 元旦

高城コミュニティセンター職員一同

ノロウイルスに気をつけましょう

新年あけましておめでとうございます。

地域の皆様におかれましては新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は多くのお力添えいただき誠にありがとうございました。今年もよろしくお願いたします。

ノロウイルスはごく少量を摂取しただけで、深刻な食中毒を起こす感染力が非常に強いウイルスです。年中を通して発生しますが、12月~2月が特に発生が多くなっています。潜伏期間(感染から発症までの時間)は24~48時間で、主な症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛であり、発熱は軽度です。嘔吐物や下痢からも感染しますので、汚染処理には注意が必要です。また、感染しても無症状のまま便中にウイルスを排泄する事があります。無症状であっても身近な人に症状がある場合は自分自身も感染している可能性があるため、食品の取り扱い等注意が必要です。日頃から手洗いの励行、トイレの便座やふた、床やドアノブなどを清潔に掃除するように心がけましょう。

~予防のポイント~

- 1) 洗い流す・・・手についたノロウイルスが口に入って感染するのを防ぎます。外出後、トイレ後、調理や食事の前などにしっかり手洗いをする事が重要です。
- 2) 加熱して死滅させる・・・ノロウイルスはしっかりと加熱すれば死滅させることができます。(例)二枚貝などの食品は中心温度85~90℃で90秒以上の加熱をする。
- 3) 薬剤で死滅させる・・・ノロウイルスの殺菌に効果が確認されているのは次亜塩素酸ナトリウムです。※アルコールは効きません。

○通常の殺菌用(調理器具やドアノブ、手すり、床など)

→0.02%の次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)で消毒

○汚物などの処理用(嘔吐物や便が付いた廃棄物):消毒してから捨てることで感染拡大を防ぐ

→0.1%の次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)

倉吉市健康推進課

| 日 | 曜日 | 内容(時間・場所) |
|----|----|------------------------------------|
| 6 | 金 | 給食(業者弁当) |
| 10 | 火 | なごもう会13:30~15:00 民児協定例会19:00~ |
| 17 | 火 | 初自治公民館長会19:00~ 初体育部長会19:00~ |
| 18 | 水 | 初自衛消防団分団長会19:00~ 初土木部長会19:00~ |
| 19 | 木 | 初交通安全部長会19:00~ 初生活文化部長会19:00~ |
| 20 | 金 | 給食(業者弁当) |
| 24 | 火 | なごもう会13:30~15:00 大山スキー説明会19:00~ |
| 27 | 金 | 自治公協役員会19:00~ |

乳幼児クラブ
1月の乳幼児クラブは、天候不順のため毎年お休みです。次回は2月10日(金)の予定です。

自衛消防団 出初式
日時 1月29日(日)10:00~
場所 高城小学校校庭(荒天時は体育館)
参加者 全団員

※12月29日(木)~1月3日(火)は年末年始のため事務室閉室(職員不在)です。事前に連絡頂ければ貸館は出来ます。

※31日(火)以降...配布物受取



高城保育園 わんぱくクラブ

《利用される方へのお知らせ・お願い》

- ・園内で感染症が発生したり、新型コロナウイルス感染症感染症警報が発令されている際には、オープンデーを中止することがあります。事前に確認をお願いいたします。
- ・ご利用になられる場合は、保護者の方は、マスク着用と来園時にアルコール消毒・検温にご協力をお願いします。

《実施日》

*24日(火) 室内遊び

*31日(火) 室内あそび

※天候等により、内容を変更することがあります。ご了承ください。

◎戶外遊び...中庭、園庭、テラス等で遊びます。

(散歩に出掛けることもあります。)

◎室内遊び...保育室または遊戯室などで、ふれあい遊びや室内遊具で遊びます。

●時間...午前9時30分~午前10時45分

●準備物...必要に応じて着替え、帽子、お茶などご持参ください。

★毎回絵本の貸し出しを行っています。

★保育士による育児相談を行っています。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ*高城保育園 ☎ 0858-28-2202

「天まで届け、光と音のハーモニー！
輝く未来に願いを込めて」
(12月10日(土))



今年も、高城ふれあいセンターを会場に、高城イルミネーション点灯イベントを行いました。

このイベントには久米中からボランティアを募り、イベントの企画から演出までを、中学生ボランティアが中心となって執り行います。今回の中学生ボランティアには、北谷・社地区からも応募があり、ボランティアの輪が広がりました。

当日は天候にも恵まれ、点灯式前イベントのお化け屋敷、風船遊びには、多くのちびっ子が参加。ちびっ子たちは、中学生ボランティアと力いっぱい楽しみました。

また、点灯式の前には、久米中吹奏楽部による演奏。高校野球等でよく演奏される応援歌曲7曲をメドレーで披露しました。部員12名の息の合った素晴らしい演奏に、観客はすっかり魅了。なじみの曲も流れ、大人から子供まで全員が演奏に釘付けとなりました。

最後は、カウントダウンで一斉点灯！会場は一瞬にして光の不思議な世界が現れ、「わ～！綺麗！」の大歓声で盛り上がりました。

今回も素晴らしい点灯式となりました。中学生ボランティアの皆さんのパワーに感謝します。そして、吹奏楽部の皆さん、素敵な演奏ありがとうございました！

最後に、地域の皆様のご協力に感謝申し上げます。

高城イルミネーション実行委員会
委員長 中上 秀一

久米中吹奏楽部による演奏



イルミネーション点灯



高城地区人権問題講演会をおこないました。

テーマ「ハンセン病と人権」

11月20日(日)高城コミュニティセンターにおいて、大山町在住の荒井玲子さんをお迎えして、高城地区同和教育推進協議会と高城コミュニティセンター共催の講演会を行いました。

コロナ禍での感染対策を行ったうえで講演会に17名参加をいただきました。

荒井さんは、現在86歳、年齢を感じさせないパワフルな方で、「長島と鳥取を結ぶ会」の代表として10年間活動を続けておられます。



お話の中で、ハンセン病という病気のことや、ハンセン病に対する「隔離政策」を打ち出した国や、その方針に沿った無らい県運動を積極的に行った鳥取県と、「ハンセン病国家賠償請求の裁判で熊本地裁原告団勝訴」の確定後、先頭立って、ハンセン病国立療養所である岡山の長島愛生園や邑久光明園に、県知事が反省と謝罪を伝えるために訪問し、ハンセン病差別の解消に向けた取り組みを進めた鳥取県の姿などを知ることができました。

また、ご自身のハンセン病との出会い、出会ってこられたハンセン病元患者の皆さんから受け止められた思い、「長島と鳥取を結ぶ会」の立ち上げの時の周囲の反応など、丁寧にわかりやすくお話してくださり、参加者がこれまで知らなかった多くのことを学ぶ貴重な時間となりました。

事実を知ること、実際に自分の眼で見て、出会って見て判断することの大切さを考える時間となりました。

この講演会の概要は、記録として荒井さんに確認していただいたものを作っておりますので、希望の方は高城コミュニティセンターに申し出てください。この記録確認をお願いした時に、荒井さんより、「集まってくださった方々の熱心で心温まる雰囲気にとっても感動いたしました」という感想をいただいたことも報告いたします。参加してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

『幻の高城飛行場』



京都大学の学生さんから「幻の高城飛行場」の建設当時の様子を聞きたいとの連絡を受け、10月26日(水)に以前新聞の取材を受けた住民の関係者に集まっていたいただき、高城飛行場について聞き取りを受けました。

その後、当時飛行機の駐機場だった現久米中グラウンドの東側竹藪、番田さん南側に掘られた8本の遂道を見に現地まで赴きました。そこでは当時とほとんど変わらない状態の駐機場や遂道を確認することができました。



高城飛行場

1945年5月6日に突然軍人が当時の高城役場を訪れ飛行場を作ると通告。わずか3日後の5月9日から予定地にあった14戸の民家の移転を開始し、6月11日から飛行場の建設が始まりました。東は青谷、西は大山迄、延べ12万人を動員した飛行場は8月10日に完成しました。飛行場では18、19歳の少年飛行兵が操縦する通称赤トンボと呼ばれた練習機が10数機(20数機という説もある)飛来。しかし、完成後5日で終戦を迎えた為、幸運にも四国沖でアメリカ艦隊へ特攻攻撃する、という任務に携わることなく役目を終えることとなりました。

ありがとうございました

金一封 福積 阪本常義 様(故母 美代子 様)
高城地区振興費と福祉事業費にご厚志いただきました
謹んでご冥福をお祈り申し上げます